

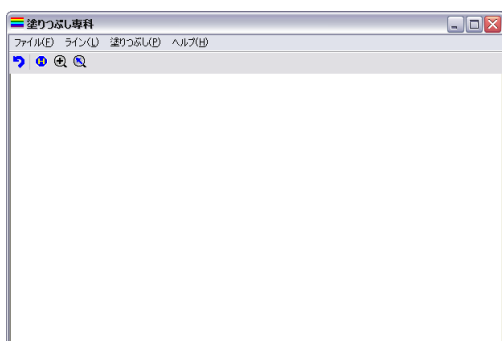
塗りつぶし専科 Version 2.3

塗りつぶし機能しかない、単機能アプリケーションです。

ただし、他のアプリケーションでは真似できない正真正銘の塗りつぶしを提供します。

使い方

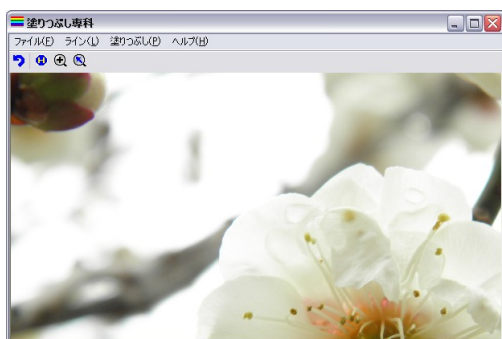
「塗りつぶし専科」を起動します。




ファイル→ファイルを開く から画像ファイルを開きます。


エクスプローラから画像ファイルをドラッグ&ドロップして開くこともできます。

開くことができるのは、BMP、JPG、GIF、TIF のいずれかのファイルです。



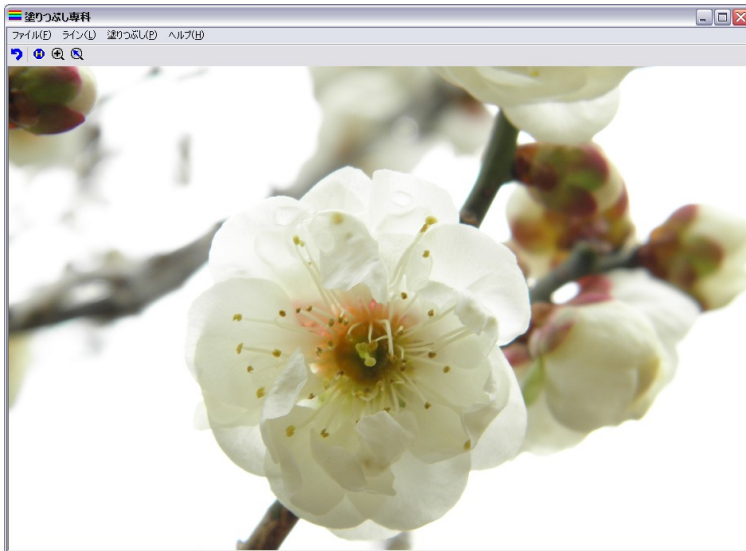
画面を適当な大きさに拡大して、画像が表示できるようにします。

 ボタンを選択すれば画像をドラッグ出来ます。

 ボタンを選択すればマウスボタンで拡大/縮小出来ます。



マウスホイールでも拡大/縮小出来ます。（原寸の1/32倍から64倍まで）

ただし、塗りつぶし作業は原寸以上の拡大画面で行うことを推奨します。



まず、塗りつぶす範囲を多角形で囲みます。
そのために、ツールバーのラインを選択し、「ライン」ダイアログを表示します。



初期状態ではライン色は「黒」になっています。
黒以外でラインを引きたい場合は「」または「編集」ボタンをクリックしてラインの色を設定します。
をクリックして、画像の適当なところをクリックすればその場所の色がライン色に設定されます。
また編集をクリックすれば「色の設定」ダイアログが表示され、色の選択ができます。

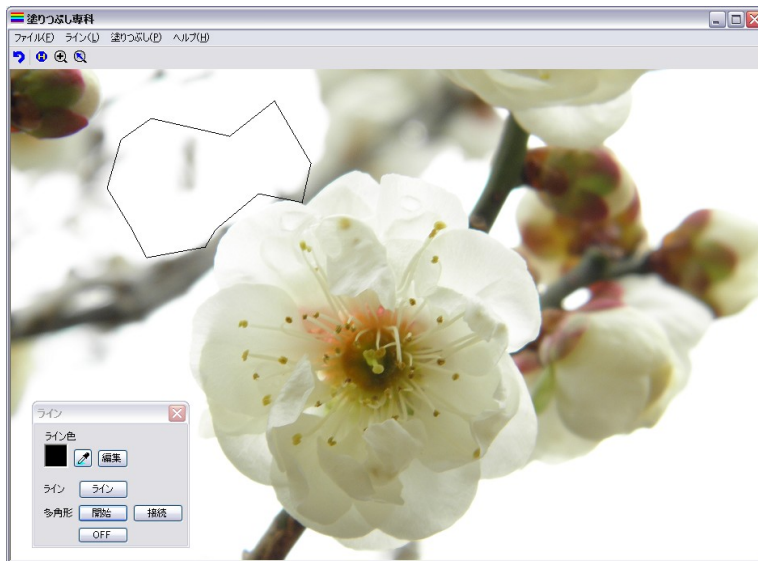
ライン色が決まったら、「ライン」または「多角形」を使って塗りつぶす範囲を指定します。

「ライン」ボタンをクリックし、画像上でマウスの「左クリック」マウスを移動させてもう一度「左クリック」でラインが引けます。

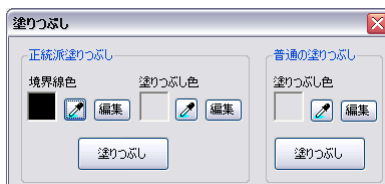
「右クリック」でキャンセルも出来ます。

多角形の「開始」をクリックし、画像上でマウスの左クリックで多角形の頂点を順次指定し、最後に右クリックで閉じた多角形が絵画されます。

やり直したい時は「↶」で元に戻してください。




塗りつぶす範囲が指定出来たら、ツールバーの塗りつぶしを選択し、「塗りつぶし」ダイアログを表示します。



「普通の塗りつぶし」は一般の絵画アプリの塗りつぶしと同じ機能です。
ここでは「正統派塗りつぶし」について説明します。

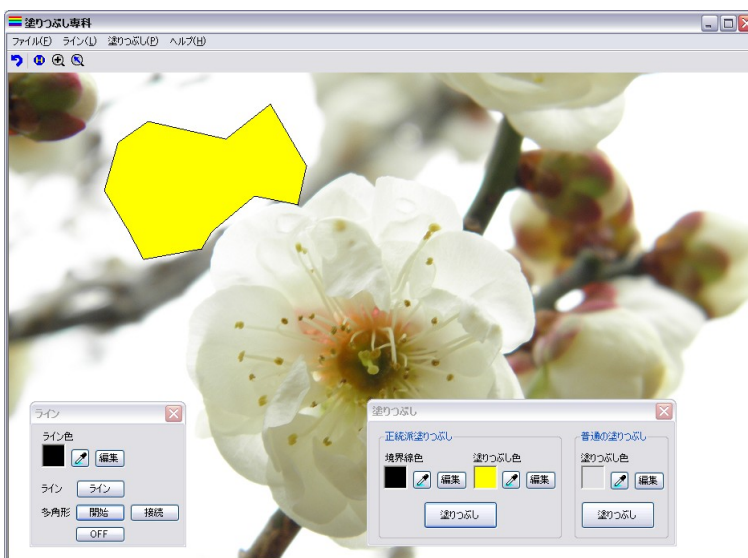
「境界線色」にはラインダイアログの「ライン色」と同じ色を設定する必要があります。

一番簡単な設定方法は「

次に「塗りつぶし色」を設定します。塗りつぶし色の「



最後に「塗りつぶし」をクリックし、画像の塗りつぶしたい部分をクリックすると、塗りつぶし完成です。



完成した画像はファイル→ファイルに保存 で保存してください。
保存出来る形式は、BMP、JPG、GIF、TIF のいずれかです。

文字の入力

ツールバーの「文字」を選択し、文字を入力したいところでマウスを左クリックし、「テキスト追加/編集」ダイアログを表示します。



[挿入テキスト]

挿入したい文字列を記入します

[フォント]

文字のフォントを選択します。

[サイズ]

文字のサイズを選択します。

[文字色]

編集ボタンを押して文字の色を指定します。

[縁取り]

文字に縁取りを付けるかどうかを指定します。

また、編集ボタンを押して縁取りの色を指定します。

[縦書き]

文字を縦書きにします。

「OK」ボタンを押すと文字が挿入されます。

挿入した文字をダブルクリックすると、文字の編集ができます。

挿入した文字をドラッグすると、文字を移動できます。

挿入した文字の上でマウスホイールを回転すると、文字を拡大/縮小できます。